

～海外派遣研修レポート～

大沼中学校 2年 福川 冬真

10月28日

朝起きたのは、確か6時ぐらい。緊張や不安などはなく特にいつもの朝と変わらなく、強いていうと忘れ物は無いか？ということだけでした。函館空港に集合し、荷物点検をして、さあ、出発。見送りにきてくれた学級担任の先生のカメラにいつも通りのキュートなキラースマイルを贈ったら、、、「緊張しているのかー」と言われ、そこで初めて「海外に行くんだー」という実感がわきました。飛行機に乗り羽田空港へ移動、バスで成田空港に行き昼食をとり、ボストンに移動。機内では、映画を見たり、音楽を聴いたり、様々なことをしていましたが長かったです。「いつ着くんだ？」と思うこと12時間ちょっと。ついにボストンに到着。しかし、体調が悪いせいか、疲れているせいか、「アメリカに着いた。」という実感があまりわきませんでした。ただ、まわりの人がアメリカ人のせいか、とても多くの視線を感じました。同時に、緊張も出てきました。入国審査です。事前研修会で練習したにも関わらず、緊張しました(まあ無事に通ったけど)。ボストンからバスでコンコードに移動。カーライル高校でホストファミリーと会い帰宅。まず、家を見た時に「広い」「大きい」「美しい」の三文字が頭の中に出てきました。中に入ると、プールはあるし、客室はあるしと驚きがたくさんでした。その日のうちにお土産を渡しました。中身はハイチュー、キットカット、とんがりコーン、そしてけん玉。ホストファミリーは大変喜んでくれました。その日は夜遅い時間だったので、すぐに寝ました。

10月29日

目が覚め時計を確認すると、朝4時。まだこんな時間か、と思い寝ようとするけど目が閉じない。時差ぼけになってしまいました。そのまま朝食を迎えました。メニューは、シリアル、ヨーグルトにミルクでした。普段なら、すぐに食べきれぬ量だったのに、時差ぼけのせいか食べ終わるのに30分掛かってしまいました。6時50分に家を出てスクールバスに乗り学校へ。玄関に入ると大勢の生徒で溢れていました。この日は、初めにCCTVの留学生フォーラムに参加、コンコードと日本の違いなどについて議論しました。次に、WIQHラジオ局に参加。カミカミだったけど楽しかったです。カフェテリアで昼食をとり昼休みにはホストファミリーのジェイクとパソコンを使って一緒に音楽をつくりました。午後の授業にも参加しまし

た。ジェイクが言うには、心理学についてで内容はわかりませんでしたが見ていて楽しかったです。

家に帰ってからはジェイクと卓球をしました。ジェイクはテニスをやっていたらしく上手でした。

それからは、晩ご飯を食べ、お風呂に入りすぐ寝ました。

10月30日

朝食はダンキンドーナツという店で買い、登校中の車内で食べました。学校に着き、体育の授業に参加、ジェイクのクラスメイトと一緒にバスケットをしました。次にセーラムに行ってきました。ハロウィン間近ということもあり仮装している人も多くおもしろかったです。セーラムでの自由時間では、ピンクのパーカーにピンクの帽子を買いました（冬真君はピンクを愛しています）。一緒に言った8人の学生みんなからは「ピンクマン」と可愛いあだ名をつけてもらいました（ありがとう）。観光も終わり帰宅しました。ジェイクは日本のアニメを見ていました。冬真は質問しました。「one ok rock（ワンオクロック）っていう日本のアーティスト知ってる？」ジェイクは「知ってるよ」と言いました。ジェイク以外の人も「嵐」「平成ジャンプ」など日本のスターや「進撃の巨人」など日本のアニメを知っている人もたくさんいました。

晩ご飯はハンバーガーを食べ、その後にジェイクとゲームをして遊びました。ジェイクはゲーム好きでもあり、様々なゲームソフトをもっていました。また、この日は、コンコードカーライル高校のアメリカンフットボールの試合を見てきました。専用スタジアムがあり、たくさんの生徒が応援に来ていました。しかも、チアガールもいました。日本にはあまりない新鮮な体験でした。

10月31日

この日は休日。午前中は、ジェイクと一緒に近くの農家さんのところへバイトに行きました（本当に給料もらいました）。その後にホストファザーのハリーと、午後の海外交流研修員とそのホストファミリーのランチパーティのお買い物にコンコードのスーパーに行ってきました。店は大きく、品揃えも豊富で、サイズも大小様々あり、主婦には大変素晴らしいお店でした。



ランチパーティの前に
投げて遊んだ可愛いやつ

そして、午後からランチパーティ。その日は、ハロウィンということもあり、パーティ開始前からホストファミリーの皆さんがプニプニした可愛いやつを投げて遊んだりしました。パーティでは各家庭の料理を味合わせていただきました。とてもおいしかったです。ある程度食事が終わると、事前研修会でも練習した「いかおどり」を「イカマン」こと杉原団長を筆頭に披露するはずが、コンコードの皆さんも知っていて、踊れる人もたくさんいました。かなり、ビックリしました。パーティも終わり、この日はハロウィンのため、家に戻ってから、ハロウィンランタンを2個作りました。夜になると、アナと雪の女王に登場するオラフの可愛い仮装をして近くの家をまわり、お菓子をたくさんもらいました。日本の七夕を思い出しました。

11月1日

この日も休日。朝早くホストファミリーとボストンの教会に行き、お話を聞いてきました。ハリーに、何の集い？と聞くと、生活困難な人たちを支援する会、と言っていました。お話の合間には、スクリーンに生活困難な人たちを支援している姿や色んな人の笑顔が映し出されていました。よくわからなかったけど、感動しました。その後、ボストンの店に寄り、ホストファミリーがボストンティーシャツを買ってくれました。午後は、北海道、マサチューセッツ州姉妹提携25周年記念コンサートを見に行きました。印象に残ったのは、アメリカの合唱団が歌った日本の歌で、聴いていて涙が出てきました。聴いていて、「いつまでも、姉妹都市の関係が続けばいいな。」と思いました。その日の夜もジェイクと遊びました。

11月2日

この日はボストン観光。ハーバード大学の寮の敷地内を見たりしました。コンコードもセーラムもボストンも見ただけでもおもしろいし、何より自然がきれいだな～と思いました。自由時間では、ピンクを極めるためにマフラーを購入（根岸はるか＝「ネギ」が見つけてくれました）。また、道端で恥ずかしいポーズをやらせられたりしました（笑）。観光が終わり、ジェイクと帰宅しました。ジェイクは「今日、彼女が来るんだ。」と喜んでいました。ジェイクの彼女は優しく、お姉さんのような雰囲気でした。その日の晩ご飯はホストマザーのジョイスが仕事でいなかったため、近くの中国人経営の日本食レストランに行ってきました。メニューには、確か、「レッドソックス寿司」というものがあったので注文しました。出てきたものを見ると、それは、ロールケーキの寿司バージョンでした。ともかく、ネタはいくら、サーモンと美味しそうだったので食べてみました。中には、

海老フライという伏兵が潜んでいてビックリしました。その後、アイスみたいなヨーグルトを食べました。

11月3日

CCTVに参加し、コンコードの生活について話し合いました。コンコード初日に比べ、緊張もほぐれたせいか、まともに話すことができたと思います。CCTV終了後、コンコード町内を見学しました。アメリカ独立戦争最初の戦場でもあるオールドノースブリッジやミニットマン像などを見てきました。静かで「本当に戦争があったのか？」と思いました。また、そこに流れる川もきれいでした。高校に戻り、昼食を食べ、5時間目は自由だったため、休みました。一度帰宅した後、コンコードにある美術館でパーティをしました。次の日がニューヨークへの出発日だったので片付けをしてすぐ寝ました。

11月4日

ホストファミリーとお別れの日。少し悲しくなった日。この日は朝から涙が止まりませんでした。朝起きて泣き、家を出るときに泣き、そして、お別れするときにも、泣きました。勝手に涙が出てきました。別れの時、ジェイクは「4月に日本に行くから、また会おう」と言い、ジョイスは、「私たちが出会えたという



ロックフェラーセンターにて

奇跡を忘れないでほしい。そして、冬真は私たちの家族でもあることを忘れないで」と言ってくれました。バスに乗りコンコードに別れをつげました。さて、朝から泣いて疲れたのか、バスではほぼ寝ていました。ニューヨークに着いてからは、コンコードとは全く違う空気で人が密集していました。同じアメリカとは思えないほどの違いでした。ホテルでチェックインをすまし、昼食（ハンバーガー）を食べ、ロックフェラーセンターに行きました。ロックフェラーセンターは70階もある展望台。ここでも、持ち物検査があり、なかなかの厳しさでした。無事検査も通り、超高い場所からニューヨークを見渡しました。素晴らしい眺めすぎて、「ここから飛

び降りてあちらの世に行きたいな～」と思いました。その後、ホテルに戻り、近くのレストランに晩ご飯を食べにいきました。歩いている途中にタイムズスクエアの近くを通りました。CMで見ている場所に自分がいることが、嘘のようで、ちょっぴりうれしかったです。晩ご飯はイタリアンレストランで食べました。帰りの途中で「ディズニーショップ」や「m&m」に行き、お買い物。特に何も買いませんでしたが、見ただけでとても楽しかったです。ホテルの部屋はとても広く、高級感で溢れていました。疲れていたため、すぐに寝ました。

11月5日

この日の朝食はホテルのレストランでフレンチトーストをいただきました。日本と同じような味で食べやすかったです。食後、向かいのスターバックスで時間を潰しました。この日のはじめは「自由の女神」を見てきました。印象は「壮大」、の一言です。生で見ると、ホントに大きい。感動というより、驚きの方が強かったです。今回は見ただけだったので、次行った時は登ってみたいと思いました。その周りも歩いてみましたが、ニューヨーク市街に比べ静かでした。この日の昼食場所は、1年の英語の教科書にも出てきた「チャイナタウン」。久しぶりの中華料理（初めての本場？かもしれない）。久々に食べたものばかりでした。午後からは、お買い物。クリスと一緒にピンクのズボンを探しましたが、見つからず（ピンクのズボンがあれば、全身ピンクにできました。残念。）。また、晩ご飯はホテルの近くでスペアリブをいただきました。また、ホテルの帰り道の途中でお買い物。再度、ディズニーショップに寄り、雑貨店のような場所にも寄りました。ここで、ピンクの耳掛けとトランプを購入しました。ホテルに戻り、荷物の確認をして、ソファに座っていたら、そのまま寝てしまいました。

11月6日

日本に帰る日。コンコードと同じように、「もっといたかったな～」と思いました。空港では無事に検査を終え、飛行機に乗ることができました。飛行機内では色んな事（前の座席のカップルらしき人の Kiss シーンや、寝ている間に隣の席に侵入したことなど）がありましたが、無事日本に帰国。アメリカとの空気の違いを感じました。途中羽田空港で杉原さんにラーメンをおごっていただきました。ありがとうございました。函館行きの飛行機でも、寝ている間に隣の席に侵入していましたが、なんとか函館に着き、自分の家に帰った時は疲れ果てていました。その日はぐっすり寝ました。

終わりに

今回の研修で学んだことは何でしょう？コンコードの歴史？文化？英語力？それもありました。だけど、もっと別なことを学んだ気がします。はっきり自分でも、分かっていません。ただ、ホストファミリーや学校の先生、生徒と関わっていく上で常に暖かいもの＝「愛」？を感じました。別れの際にジョイスが言ってくれた言葉。あの言葉を聞いた時、本当の家族になれたのではないか？そう思います。「人生の価値は息をした数ではなく、心奪われ、息をするのも忘れる瞬間を経験した数で決まる」と、アメリカの活動家であるマヤ・アンジェロウは言いました。今回の体験はまさにこの言葉のようになったと思います。11日間の短い間で、笑ったり、泣いたり、かけがえのないものがたくさんできました。また、今回の海外研修に参加するにあたって、たくさんのご迷惑をおかけしました。家族はもちろん、研修に参加した14人でぼくが一番、時差ぼけなどでご迷惑をおかけしたと思います。そんな中、支えてくれた皆さん、ありがとうございました。この分は、出世払いで恩返ししたいと思います。

今回参加をすすめてくれた家族、協力してくれた先生方、役場職員の皆様、ホストファミリー、一緒に行った13人の皆さん、ホントにありがとうございました。